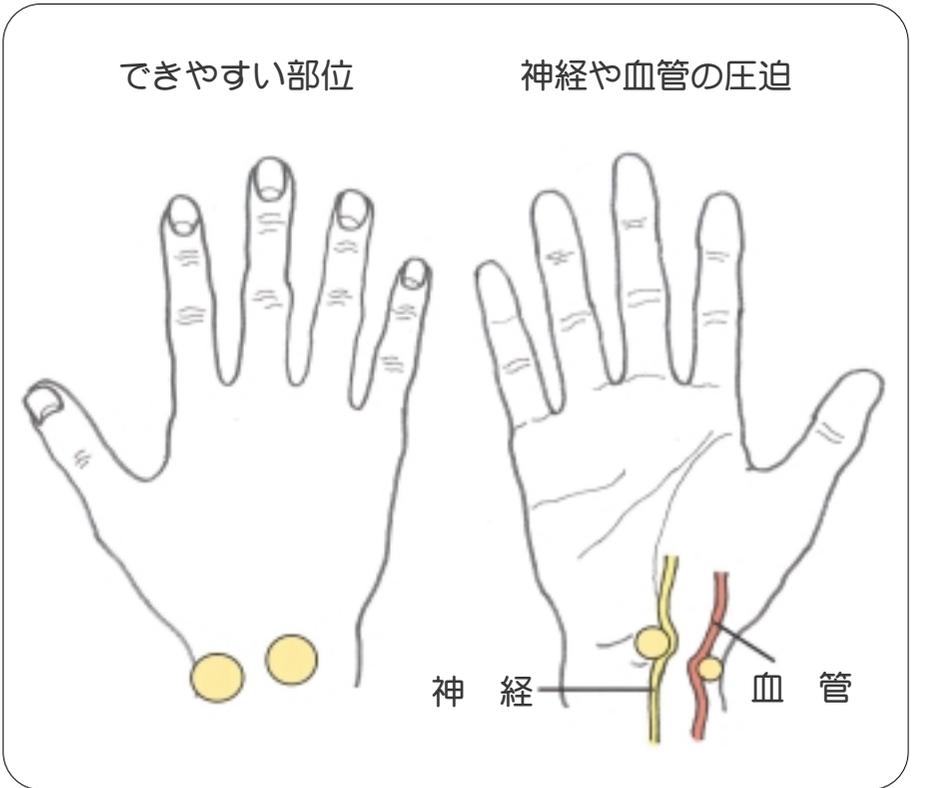


ガングリオン



ガングリオンとは？

ガングリオンという悪いものを想像してしまいがちですが、きれいな円型の弾性のある硬いコブのようなデキモノで、実際はゼリー状の内容物がつまった良性のデキモノです。

私たち整形外科医は日常の診療でしばしばお目にかかります。よくできる部位は手首や足首の甲の部分や手指で、その硬さ故に骨か軟骨が飛び出たと思われる方も多いようです。

大きさは数ミリのものから数センチのものまで大小様々で、ぶどうの房のようにいくつか集まってできることもあります。

表面が滑らかで特有な弾性があり、根の部分以外に周囲の組織と癒着がないことなどから診断が可能です。

そのほとんどが腱を包む袋（腱鞘）や関節を包む袋（関節包）から発生しますが、神経、骨、筋肉や膝の中にある半月板などから発生することもあります。統計によれば、男性よりも女性に約3倍多くみられます。

大抵の場合、症状は運動時の軽い痛み程度で、単なるコブでしかありませんが、部位や大きさによっては血管や神経を圧迫して強い痛みやしびれを伴うことがあります。

原因は？

機械的な刺激（ケガの後や使い過ぎなど）によって体内の結合組織が変化してできると考えられていますが、本当のところは未だによくわかっていません。

治療は？

悪いものではありませんので放置していても構いません。自然に消失することもあります。

見た目が気になったり、痛みやしびれを伴う場合は、より積極的な治療が必要となります。

最も一般的な方法は、注射針を刺して中のゼリーを吸引するという方法です。しかし根治治療ではありませんので一時的には消失しますが、そのほとんどが再発します。

数度の吸引によっても消失しない時は手術をすることもあります。切開してゼリーを包む袋ごと摘出したり、関節鏡とよばれるカメラを使用して部分的に切除しますが、それでも再発する場合があります。以前はハンマーや硬いもので叩いて潰すなどという荒療治もされていたようですが、強い痛みを伴う上に骨折などの危険性もあるので、お勧めできません。いずれにしても悪いものではありませんから、あわてずに主治医とよく相談して決めるのがよいでしょう。

(相模原市医師会 小林 明雄)



休日・夜間の急病診療制度の利用

まず、かかりつけの医師に相談してください。
かかりつけの医師が不在、近所の医療機関で診療が受けられない方は

☎042(756)9000
相模原救急医療情報センターへお電話してください。

	午前9時	午後1時	午後5時	午前9時
平日	[電話受付時間]			
土曜日	[電話受付時間]			
休日	[電話受付時間]			

...電話受付時間

市民のみなさんへお願い

診療可能な医療機関を案内します。
医療相談・歯科案内は行なっておりません。
急病で困ったときに利用してください。
応急診療が目的ですので、翌日はかかりつけの医師または近所の医師の診察を必ず受けてください。
健康保険証を必ず提示してください。されない場合は自由診療扱いとなり、費用が高額になります。
救急車は、生命に危険が生じた患者さんを一刻も早く運ぶためのものです。安易な利用は避けてください。
歯科の急病については休日急患歯科診療所 ☎042(756)1501 へ
(ウェルネスさがみはら 2階)
服用している薬がある場合は、お薬手帳もしくは処方された薬をお持ちください。